

私たちの思い描く明日。
未来には愛しかない



JK (地元改革) 課

ASUKA YANASE

柳瀬明日香

NAOKO FURUSAWA

古澤菜桜子

ERIKA URAKAMI

浦上衿華

ASUKA TSUBOUCHI

坪内明日香

個性は発揮できる場所があつて

こそ。その積み重ねが成長を生む

昨年11月に誕生して以来、多くのメディアに取り上げられ、激動？の3カ月を送ってきたJK（地元改革）課のメンバー。個性は発揮できる場所があつてこそ。また一つ階段を上った彼女たちが今、思うこと。

偶然生まれたプロジェクト

「高校生や中学生がまちの中で自由に活動できる場があればいいよね」。日野高校魅力向上コーディネーターとの雑談の中で偶然生まれたのが、このプロジェクトだ。これまでまちづくり活動への参加が少なかった高校生などを対象として、次世代のまちづくり参加の促進や若者の人材育成を目的としている。

そんな同プロジェクトの初代リーダー（課長）が、町在住の柳瀬明日香さん（舟場）だ。「地元改革（JIMOTO KAIKAKU）」の頭文字を取った語呂合わせの「JK課」も彼女の発案。一見、「JK＝女子高生」と誤解されがちだが、男子メンバーもいっぱいいるところが注目ポイントでもある。

ンバーに聞くと、それぞれ地域との出会いがきっかけだったと話してくれた。浦上 高校の課題研究で日野町の空き家を調査したんです。テレビの影響で解体とかリフォームしてみたくて。それで、実際にのこぎりを持ってリフォーム体験をしてみたり、空き家の調査をしてみたり；地域の人の力を借りながら、自分たちで計画を立てるのが楽しかったです。

柳瀬 私は去年のねうまつりに踊り子として参加したことかな。一緒に空き家調査をしていた浦上と古澤、仲の良い同級生たちと浴衣を着られて楽しかったです。それに、まちの人と一緒に何かすること自体が初めてで新鮮でした。

坪内 保育士になるのが子どもからの夢で、課題研究のテーマも「地域の子育てサポート」にしました。その中で「病後児保育」という子育て支援があるのを知りました。研究を終えて、もっと病後児保育のような子育て支援を広めたいと思いました。広報ひので特集してくださいね（笑）絶対ですよ！

人はそれぞれ、粗削りだが個性という原石を持っている。しかし、それは必ずしも学校の中だけで磨かれるわけではない。個性は発揮できる場所があつてこそ。そこで地域への興味がわき、ふるさとへの愛着が生まれてくるのではないだろうか。

私たちに起きたある変化

高校の課題研究で地域に出かけたことがきっかけと話すメンバーが多い中、坪内さんは子どもころからの夢が地域の中でさらに

への出店を皮切りに、公民館まつり、ラジオ出演などめまぐるしい毎日が待ち受けていた。柳瀬さんは、学校以外で多くの人とかわる中で自分の中に起きた変化をこう話す。

柳瀬 人との話し方、コミュニケーションの取り方をどういう風にしたらいいか考えるようになりましたね。あと、周りのサポート。私たちが考えたことを実現させるためにサポートしてくれた人たちへの感謝を忘れないようにしたいです。

そんな地域の人への感謝と親睦を深めたいと、彼女たちが企画したのが「鍋パーティー」だ。

古澤 空き家の活用がテーマの一つだったので、会場は日野町お試し住宅（舟場）を活用しました。当日は、イ



初めて自分たちで企画した鍋パーティー。地域とのつながりや感謝の気持ちを実感し、また一つ成長を遂げた